

市 長	副市長	建設部	都市整備課				
		部 長	局長	課長補佐	係長	係 員	担当

会 議 記 録 簿

件 名	第9回 恵那市リニアまちづくり基盤整備計画推進委員会	記録	今井
日 時	令和7年6月30日（月）13：30～15：50		
場 所	恵那市役所西庁舎4階 4A会議室		
出席者	恵那市：長谷川部長、原局長、各務課長、吉村技術指導官、遠山課長補佐、西尾 委 員：別紙名簿参照		

1. 開 会

- ・長谷川部長より挨拶

2. 委員長あいさつ

- ・磯部委員長より挨拶

4. 議事

- ・令和7年度基盤整備事業について

資料①

（1）（仮称）恵那峡SA スマートICについて

（2）東濃東部都市間連絡道路について

（3）リニア機能回復による大井長島地域及び野畑野尻地域の道路計画

（4）リニアまちづくり構想のリニューアルについて

5. その他

- ・リニア中央新幹線工事の進捗状況について

資料②

【質疑等】

柘植）スマートICからサービスエリアへ入る場合、サービスエリアは利用できないのか。また逆走が起きないように構造にしないといけないと思うが、逆走への対応はどうなっているのか。

市）上り線の場合、スマートICからサービスエリアに入り右折すると逆走になるため、サービスエリアは利用できないと考える。合流する箇所では対策をとることになると考えており、中日本高速道路と協議して対策をとっていきたい。

下り線の場合、上り線とは逆にサービスエリアを利用した後にスマートICの方向へ進むと逆走になるため、スマートICから下道に下りる車はサービスエリアを利用できない。

市）逆走せずにサービスエリアを使いたい時は、上り線も下り線もサービスエリアの外に駐車場がある。

柘植) 野畑野尻の機能回復道路から東濃東部都市間連絡道路へ接続する道路について、リニア軌道北側が 2 車線、リニア軌道南側が 1 車線となっているが、都市間連絡道路と接続した時に 1 車線が交通の障害とならないか。

市) まだ構想段階だが、都市間連絡道路は北側の 2 車線の方に繋がることを構想している。

加藤) スマート IC 周辺は土地利用の制限をしていくということだが、他にそういう規制は検討しているのか。

市) 大井長島は住宅的な土地利用が望まれていることから住宅としての土地利用として規制をしたいと考えている。中田(大井東地区)は農振農用地であり宅地化しづらい所ではあるが、スマート IC から恵那峡やリニア岐阜県駅に行く動線上にあるため、乱開発を防ぐような規制を検討し、併せて交通網の整備として道路整備を検討している。

渡邊) 野尻野畑の区画整理について、ここは農振法の規制がかかっているのか。

市) 地番ごとの農振農用地ではない。

渡邊) 区画整理事業と JR が関係する道路事業は並行して進められるのか。

市) 道路事業はリニアの工事にあわせて先行して進めている。区画整理は道路事業とは別で検討している。

渡邊) 区画整理事業の際には土地のかさ上げをするのか。

市) 具体の手法は決まっていないが、既存の家があり面的なかさ上げは難しい。

渡邊) 区画整理事業を行う場所に将来的に住宅が展開するのは間違いないという構想があるのか。

市) 地権者の 9 割以上が賛成している。組合方式による整備を想定しているが、事業の採算性がとれないとできないため、どういった事業ができるかの話がまとまればという状況。

渡邊) 人口や世帯が減少する中で住宅の需要はあるのか。

市) 民間事業者への聞き取りでは大井、長島は需要があると聞いている。人口としては減っているが市内での転居もあり、将来のインフラ維持を考えても市街地に近い場所に住んでもらうことは有利である。地権者の同意もあるため進めていきたいと考えている。

渡邊) 恵那 IC の渋滞は、秋口以外はそこまでではないと思う。恵那峡へ渋滞対策でスマート IC を設置したはいいが想定より利用されなかったということにならないか懸念している。

市) 平日の坂の上の交差点を見ていると毎朝通勤渋滞が発生している。また土日にも観光渋滞が発生している。それを緩和するためにも整備進めたい。

磯部) 恵那峡への移動だけではなく、19 号に直接つなぐことで現在の恵那 IC 周辺の混雑を分散させる意図もある。

加藤) スマート IC は大型トラックも利用できるのか。

市) 車種制限がないフル規格のため問題ない。

作田) スマート IC は恵那峡だけでなく下呂方面への利用も今後増えると思う。ただスマート IC 整備だけでは恵那 IC の渋滞は解消されないと思うので、坂の上交差点の渋滞解消も進めてほしい。

磯部) 下呂の方面へ抜ける道という発想としてはどうか。

市) リニア岐阜県駅へ向けては都市間連絡道路につながりアクセスできるという点で価値があると考えている。坂の上交差点については課題を解決する一つの方策と考えているが、これで全てが解決するわけではないと思うので引き続き周辺道路整備の有効性も検討していきたい。

磯部) スマート IC の取付道路の沿道は土地利用の規制はあるか。

市) 何も制限はない。すぐ近くに住宅地と田が広がっている場所だが、地域として静けさを守っていききたい、土地利用を進めたいなどの話があれば必要な規制等を検討していきたい。

渡邊) 計画では令和 8 年から用地・工事とのことだが、地権者には事業の話はしてあるのか。

市) 関係しそうな地権者へは個別にお話しし、周辺自治会には昨年 4 月の頭までに地元説明会を実施した。

渡邊) 事業はいつごろまでに完了する予定で進めているのか。

市) 市としては令和 13 年を目標として掲げている。ネクスコや国の補助の状況を見ながら進めていく。

市) 補足として、リニア関連の整備事業については JR と一体でやらないとできないものもあるため、リニアの工事進捗により影響が出るものである。

以 上